

街かどアイドル

民芸みはし「店长」
さくま ひろゆき
佐久間 浩之さん(家之子在住)



「元気があれば何でもできる」昭和のヒーローが言ったこの言葉が大好きです。決してあきらめない元気で創意・工夫に励んでいます。

「日本人らしい手仕事がしたい」大学卒業後、縁あって栃木県の益子焼窯元共販センターに就職し、昼は販売員、夜になると陶芸教室で土に触れ、やがて窯元に弟子入りし、お金も華やかな街もないけれど、温かい人情に囲まれながら修行させていただきました。「手仕事で人を元気にしたい」東金に戻り陶芸教室を始めてはや18年。多くの笑顔に出会うことができました。近頃は東金ぶどう郷の園主さんとの出会いがきっかけで、ぶどうの釉薬の焼きもの作りに取り組んでいます。

私が東小学校を卒業するときに、当時の鈴木喜久雄校長先生が「コスモスの力と心を」という文章を贈ってくださいました。数十年経った今も、とても支えになっている言葉です。いつかコスモスをテーマにした作品で、千葉県展で一番の賞が取れたら、東小学校に寄付して子どもたちに「あきらめない元気」を伝えたい。それが今の私の目標です。もらってくれるか分かりませんが・・・。

《 建設業者の皆さんによるボランティア清掃活動 》 《 国道126号沿いをキレイにさせていただきました 》

10月26日に(一社)千葉県建設業協会山武支部の主催でボランティア清掃活動が行われました。「きれいな街づくり」活動の一環としての取り組みとすることで、約90名の建設事業者の方々が、市街地の国道126号沿いをキレイに清掃してくださいました。同支部の内山弘通支部長はこの活動を「地域に貢献することは、私たち公共工事に携わる者の使命だ」とした上で、「この活動を見て地域住民の皆さんにも自分たちの地域をキレイにしようという一体感が生まれ、安心安全で住みよいまちづくりにつながればという思いで行っている。」と話していました。



▲ボランティア清掃活動をしていただいた建設業者の皆さん。



▲片貝県道入口から旧県立東金病院前交差点付近までの約2kmの道のりを、徒歩でゴミ拾いしました。

《 アドレス・サービス株式会社から 《 アコーディオンブース》を頂きました 》

▶鹿間市長(左)にアコーディオンブースを寄贈するアドレス・サービス株式会社 土屋光宏取締役(右)。



アドレス・サービス株式会社(土農田)から、災害時の避難所で使用する段ボール製のアコーディオンブースを寄附していただきました。避難所生活においてプライバシー空間の確保ができる上に、新型コロナウイルスなどの感染症予防にも効果があります。土屋取締役は「避難所でアコーディオンブースを活用していただき、新型コロナウイルスの感染防止に役立てていただきたいと思います。」と話していました。

■ 広告欄 ■

公式LINEを開設!

スマホアプリのLINEを使って、皆さんと東金市が「簡単に」「便利に」「お手軽に」つながります。

あなたに合ったお役立ち情報や災害緊急情報などが、あなたのお手元に届きます。



まずは東金市と「友達」になってね!

東金市の検索はLINEの友達追加で右のQRコードをスキャン。



■ 広告欄 ■